



“SINRAI Project”

JICA 社会保険実施能力強化プロジェクト



ウランバートル市における障害者の社会参加促進 (DPUB) プロジェクトとの合同セミナー開催!

7月23日、「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト (DPUB)」開催の特別セミナーにおいて、山下チーフアドバイザーがモンゴルの障害者や支援団体の皆様に対して、モンゴルでも社会保障を充実させる重要性や、日本の社会保障政策は経済成長にどう寄与してきたかにつき、講演を行いました。



講演を行う山下チーフ

参加者の意見を聞く様子



DPUB プロジェクトの千葉チーフアドバイザーは、モンゴルでより良い社会を実現させるためには、国民の正しい理解、そして何よりも多くの人々が力を合わせて声をあげることが重要

であることについて、講演後のコメントで述べており、参加者は強く共感をしていました。

最後に、両プロジェクトのチーフアドバイザーからの皆様へ向けたメッセージが印象的でしたので、引用します。

「私たちプロジェクトは、知識や日本の経験について、モンゴルの皆様にお伝えすることにより、モンゴルのより良い未来づくりのサポート



千葉チーフが発言している様子

はできます。しかし、モンゴルの将来を実際に作り上げるのはモンゴル国民、一人一人です。」

同セミナー参加にあたってお世話になった、DPUB プロジェクト、モンゴル日本人材開発センター、参加者の皆様に改めて感謝を申し上げます。



セミナー後の記念撮影

ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト公式 Facebook : JICA DPUB

山下チーフアドバイザーが勲章を頂きました。

7月17日、山下チーフアドバイザーは、ゾリグト社会保険庁長官から、社会保険功労職員の勲章を授与されました。これは、2年にわたるプロジェクトの活動を通して、モンゴルの社会保険分野の発展に貢献したことを称えたものです。

社会保険庁幹部の皆様と記念撮影



山下チーフアドバイザーは、「モンゴル社会保険庁や社会保険事務所の活動やサービスが、日に日に飛躍的に向上していることをみて非常に嬉しく感じており、そして今まで一緒に皆さんと活動できたことに対して深く感じています。」と喜びと感謝の言葉を社会保険庁幹部の皆さまの前で述べました。二年間本当にお疲れ様でした。改めて感謝を申し上げます。

連載：草原の国の社会保障（第 26 話） “2 年間ありがとうございました”

皆さま、こんにちは。SINRAI プロジェクトが発足して 2 年が経過しました。おかげさまで、70 名以上のモンゴル政府職員が日本で研修を受け、のべ 1,000 名以上の職員が研修を受講しています。社会保険庁の 7 階で毎週火曜日に開催している Weekly Meeting も 74 回を数え、社会保障政策について毎週連載している新聞記事も 90 回に到達しました。SINRAI プロジェクトの公式 Facebook のフォロワーも 2,800 名以上。また、社会保障に関する講演活動は数えきれません。

充実した活動が行えたのも、モンゴルの方々に新しいことを学びたいという高い意欲があったからです。また、伝えたことを即座に実行し、社会保険制度や実務をどんどん改善していく姿勢は、私たちにとってもやりがいがありました。モンゴルの友人たちから「サービスは大変ひどい」と言われていた社会保険事務所の対応も、今では、「社会保険事務所のサービスが見違えるくらいに変わった。大変良くなった」と言われるようになりました。昼休みも開庁し、携帯電話で保険料を振り込むことができるようになるなど、加入者・受給者を第一に考える職員の姿勢は、二年前に着任した当初では考えられない変化です。

年金制度の企画立案に関する人材もたくさん育ってきました。累計 7 週間の年金数理の研修を受けた若い職員の皆さんが話している内容は、もう私の能力をはるかに超えています。この若い職員の皆さんが、統計データを整備し、近い将来、データに基づいた政策立案を行う中心メンバーになるでしょう。大変楽しみです。

仕事だけでなく、生活面でもモンゴルの方々に大変良くしてもらいました。遊牧民のお宅で馬乳酒の採取のお手伝いをしたり、乗馬をしたり、満天の星空の下でモンゴルの歌を歌ったりと、日本では決して経験できないことができたのも、モンゴルの皆様のおかげです。

二年間の任務を終え、これからは日本の社会保障制度を良くする仕事に従事します。とはいえ、私は今でもモンゴルの社会保障制度を更に良くするための一番の理解

者であり、支援者ですよ。ありがとうございました。また、会いましょう。

元 JICA チーフアドバイザー 山下 護



伊藤チーフアドバイザーの着任

はじめまして。山下さんの後任でまいりましたチーフアドバイザーの伊藤 経人（いとう つねと）です。私は、山下さんの後輩であり、同じく日本の厚生労働省からまいりました。日本では、主に医療や福祉など社会保障の仕事をしており、他には、三重県名張市（人口約 8 万人）の副市長や、和歌山県（人口約 100 万人）の福祉の担当課長も勤めるなど組織のマネジメントの経験もあります。出身は、日本の真ん中にある岐阜県（人口約 200 万人）で、家族は、父母のほかにも兄がおり、実家の小さな企業を兄が継いでいます。

趣味は、散歩と、サッカーや NBA を見ることです。海外経験については、アメリカのロスアンゼルスに 3 か月住んでいたことや、10 カ国以上海外旅行をしたことがあります。モンゴルは旅行も含めて初めてですので、今後、機会を見つけてモンゴル国内のいろいろな場所に訪れたいと思っています。

私は、真面目に一つ一つ仕事を積み重ねていくタイプであり、今後、皆様と連携しながら一つ一つ頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

モンゴル国営ラジオの収録

7 月 27 日、山下チーフアドバイザーの最後の仕事として、モンゴル国営ラジオ局の番組「ソヨンボ」の収録に参加しました。

収録では、パトチメグ・アナウンサーからの質問を受けながら、プロジェクトの活動や今までの成果、社会保障政策を通じた日本の経済発展の事例などについて説明をしました。ラジオは、テレビや新聞、インターネットとは、また違った層の人々へ情報を届ける重要なメディアだととらえています。今後も引き続き、いろんなメディアによる広報活動を積極的に行っていきたいと思っています。



収録の様子

SINRAI プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル社会保険庁内

6 階 602 号室 電話 (FAX) 番号：(+976)-11-325125

公式 Facebook アカウント：Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから

<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

